

# Message



子どもたちの目が輝く街にするために青少年委員は働きます

子どもたちと防災	2~5
2011年ひがた探検隊	6
協力団体紹介“D&A Networks”	7
ポニー乗馬会案内	8
スクールライフサポーター	
今年度の活動計画	
編集後記	





# 災害に備えよう Part 1

## —子どもたちは先生に守られた—

平成23年3月11日午後2時46分、かつて人々が経験したことのない大地震・大津波が東日本を襲いました。東京も震度5強の地震に見舞われ、街は人々で溢れかえりパニック状態になりました。その様な中、千代田区内の児童達は各校の先生方の迅速且つ適切な対応のお陰で、しっかりと安全が確保され、保護者への引き渡しもスムーズに行われました。これが授業時間帯でなく、通学途中等だったらどうだったのでしょうか？そこで、それぞれの学校で独自の対応をして下さった先生方に、今回の震災に対して感じたこと、これからの取り組み等をお聞きしました。

## 学校からのメッセージ

### 翹町小学校

#### 中村 守 校長先生

今回のように、子ども達が学校にいる時間帯に私たちの想定外の出来事が起きたときには、安全が確保できるまで、また、保護者の皆様への的確な引き渡しができるまでは、子ども達は責任を持って、学校でお預かりします。連絡等つかなくても、安心してお任せ下さい。ただ、登下校の最中、特に、電車通学の子どもとは、避難場所について、十分に話し合ってください。学校か、自宅か、原則は被災地点からより近い方になると思いますが。



### 九段小学校

#### 鈴木 邦夫 校長先生

学校は「子どもの安全を守る、子どもの命を守る」場であることを、今回の震災を通じて改めて感じました。しかし学校は、区民の方の避難場所になるべき場所でもあります。今回の地震で、より大きな視点で地域の防災施設としてのあり方を考えていく必要があることを感じました。



### 番町小学校

#### 有馬 守一 校長先生

東京にも大地震が来ると言われて久しいですが、いざという時の準備を日ごろからしっかりとしておく事の大切さを改めて実感いたしました。震災時には、今回同様保護者の方が引き取りにこられるまで、お子様を学校でお預かりいたします。大きな地震を感じた時は自主的にお迎えをお願いいたします。また、余震や交通状況によってはすぐにお帰りいただけないこともありますので、予めご承知おきくださいますようお願いいたします。



### 富士見小学校

#### 昌子 正夫 校長先生

3月11日の地震発生時は、幸いにも子どもたちがまだ下校前であったため、学校で待機させ、保護者に一人一人引き渡すことができました。先日、保護者に登下校時に災害が起きた場合の対処の仕方について調査しました。今後、登下校時に災害があった場合にどのようにすればいいか各家庭の状況に応じて具体的に話し合うことが大切だと思います。



### お茶の水小学校

#### 小林 勇司 校長先生

地震発生時、全児童が下校前であったので、保護者に安全に児童を引き渡すことができました。電車通学が多いために宿泊を余儀なくされた児童と、帰宅難民の方々が多く避難してきましたが、全職員が徹夜で対応してくれたことに、感謝します。今後は、緊急の連絡にメール配信システムは、重要であるとの認識から、100%の登録が必要ですので、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



### 千代田小学校

#### 浅川 宏 校長先生

この度の震災は、日々刻々と進展する科学技術による科学万能の・人間至上の考えを一瞬にして覆すほど偉大な自然の力を示しました。同時に、震災直後の現地に向かうボランティアの惜しみない活動は人の絆の重大さを教えてくれました。そこで人間の幸せ目指す教育は、便利さや快適さの中にあるのではなく、人のために役立つという利他の心を基盤にしたかわりによって実現する事を改めて学ぶ機会となりました。



### 昌平小学校

#### 勝又 正之 校長先生

児童への緊急対応をあらゆる角度で検討しておかなければならない事である。様々な場所・時間帯に震災に遭遇する事が考えられる。そうした場合に、児童はどう行動したらよいか、指導・訓練しておかなければならない。そのために、今回の震災をよく検証し、生活指導部を中心に想定外の対応も含め、マニュアルを作成する必要がある。



### 和泉小学校

#### 額賀 聡 校長先生

今回の震災では引き取りの連絡が困難な時に、多くの保護者の方が自主的に連絡をして下さいました。また地域の方からは激励を頂くなど、改めて本地域の連携の強さを感じました。また児童も日頃の訓練を生かし、教員の指示にきちんと対応してくれました。学校としては、さらに危機意識を高めリスクマネジメントを実行していかなければなりません。震災対応を改めて協議し、児童の登下校中を想定した安全指導を地域・家庭と共通理解を図りながら進めていきます。



### 翹町中学校

#### 村上 みな子 校長先生

この度の東北地方大震災を経験し、当初は未曾有の被害状況に愕然とし、声にもならない状態でした。しかし、本校生徒たちの整然とした避難、秩序ある言動・態度を目の当たりにして、子ども達に内在する「ことが起きたときの底力」なるものを感じ、少し頼もしく思いました。引き続き、危機管理体制を強化し、安心・安全の確保に努めて参ります。



### 神田一橋中学校

#### 岡田 行雄 校長先生

3月の大地震で学校は多くのことを学びました。連絡手段の確保の難しさ、避難してくる人への対応、校舎内の避難場所の設置、非常食の配り方、給食室との連携、来校した保護者の方々の受付、生徒の安全確保と避難所運営を行う職員の当番割り振りなど様々なことを学びました。171の活用等の課題も見えましたが、避難訓練の成果もあり生徒の規律ある行動と職員のがんばる姿勢に感謝の念を抱きました。



### 九段中等教育学校

#### 倉田 朋保 校長先生

東日本大震災がもたらした被害の大きさと、地震や津波がもつ自然の脅威を実感しています。当日は、度重なる余震の中、帰宅困難な生徒の保護と全校生徒や保護者の安全確認を学校全体で取り組みました。学校は、子どもの安全確保はもとより、地域の防災拠点や避難所の機能などがあります。従って日頃より地域の皆様と連携を深め、防災機能の充実を図るとともに、教育活動の早期再開を目指せる防災体制の整備が大切と考えています。



### 児童・家庭支援センター

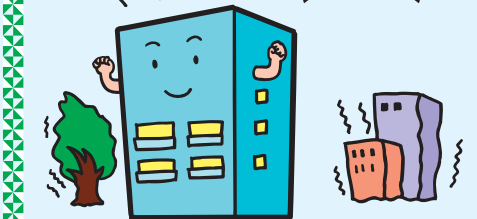
震災時は交通機関がストップしてしまい、保護者の勤務先が区外の場合など、児童を迎えに来ることが困難となるケースが多いと予測される為、今後は児童が施設内に一定期間とどまる事を前提として、児童館等にも、ある程度の備蓄物資が必要であると考えます。また、緊急時の保護者への連絡体制についても電話以外の方法を検討する必要があります。以上を踏まえ、各児童館が共通認識を持って、有事の際の対応を行って参ります。

### その時！学校では…

**学校に宿泊！**  
余震が続き、交通機関がストップ。保護者の方々への引き渡しは、夜中から翌朝まで続いた。

**一斉メールが不通**  
電話回線もパンク状態の中、学校HPや緊急時優先電話で各家庭へ連絡を試みた。

**帰宅困難者の受け入れ**  
100名から多い学校では500名を超える方々の避難所となった。





# お家の人と話し合っていますか？

- 学校へ行くとき、学校から帰る時
- 電車が止まって途中の駅で降ろされた時
- 塾や習い事をしている時
- 公園や友達の家で遊んでいる時  
(災害の時はお家の人と連絡がとれなくなる事があります。普段からどうするか話し合っておきましょう。)



## 通学路を調べておこう！

- 地震が来たら避難する場所がありますか？  
(広い公園・頑丈な建物・知り合いの家 etc)
- 途中で危険な場所はありませんか？  
(ガラスが降ってきそうなビル・狭い路地 etc)
- 食料や飲料を手に入れられる場所がありますか？  
(スーパー・コンビニエンスストア・自動販売機 etc)



「災害対策用自動販売機」

大地震など災害時に遠隔操作で清涼飲料を無料で提供。  
(区がインターネットを通して操作。) また、気象庁の発表や交通の状況などの災害情報を24時間表示。  
今回の地震時も活用されました。

全ての自動販売機が対応されるわけではありません。  
注意して探してみてください。

# 災害に備えよう Part 2

千代田区は全域が「地区内残留地区」です。「地区内残留地区」とは、東京都の調査により建物の不燃化が進み、大規模な延焼火災の危険性が少ないと認められた地域です。これにより、地震発生の際、すぐに避難を開始するのではなく、自宅等に留まり、被災状況を把握してください。  
万一、危険を感じた場合は、「避難所」へ避難してください。

## 帰宅困難者支援場所 (「帰宅困難者支援場所」とは、帰宅困難者の一時的な避難と円滑な帰宅が可能となる様必要な情報提供を行う場所です。) 地域住民避難所

備蓄倉庫 (九段小学校)

**帰宅困難者支援場所**

- 皇居外苑
- 皇居東御苑
- 外濠公園
- 北の丸公園
- 日比谷公園
- 真田堀運動場

避難所施設	
1	麹町小学校
2	九段小学校
3	番町小学校
4	麹町中学校 (麹町校舎)
5	富士見みらい館 (富士見小学校)
6	お茶の水小学校
7	神田一橋中学校
8	神田さくら館
9	昌平堂夢館
10	アーツ千代田 3331 (旧練成中学校)
11	千代田パークサイドプラザ
12	旧今川中学校
13	都立日比谷高校
14	都立一橋高校
15	九段生涯学習館
16	区立スポーツセンター
17	岩本町ほほえみプラザ
二次避難所	
18	いきいきプラザ一番町
19	高齢者センター

※災害用伝言ダイヤルは「171」です。説明に従って操作して下さい。



# ひがた探検隊

第1回（5月22日）、第2回（7月17日）を実施。ひがたの自然の中で活動しています！

今年度の「ひがた探検隊」については、先の大震災で地震・津波と海の怖さを知り、開催の是非について悩みました。そこで、子どもが協力をお願いしている漁師さんと十分に協議を行い、また教育委員会にも相談をした結果、実施する運びとなりました。応募して下さった皆様、ありがとうございました。50名の元気な子どもたち、学生リーダー、青少年委員会のメンバー総勢約95名で今年も楽しく活動しています。



## ひがた探検隊情報配信

今年度のひがた探検では、ホームページを介して現地の様子を配信する試みを始めました。今回の地震で、災害時には携帯電話やメールが繋がらないという事態を経験しました。そのため、この配信は、いざという時に保護者のみなさまへお知らせする効果的な手段となりえます。帰りのバスの運行状況も配信していますので、帰着時間の把握にも役立っています。残り2回の活動も同様にホームページで配信する予定です。

# 青少年委員会の活動テーマの一つは、 中高生ボランティアリーダーの育成です。

ひがた探検隊事業で企画に助言を頂いたり、子どもたちがお世話になっている学生リーダーのコーディネートをお願いしている団体の代表である中田弾さんに聞きました。

S：青少年委員会 N：中田 弾さん

S：いつもありがとうございます。最近、地域活動団体を立ち上げられたそうですが、どういう団体ですか？

N：「D&A Networks」という団体で、DはDesign（企画）、AはAction（実践）を表しています。子どもたちが参加するイベントの企画から運営まで、子どもの活動に関わる学生リーダーの養成、社会福祉関連事業、若者や学生団体の地域活動支援、学生リーダーの講習会などを行っています。



中田 弾さん

S：学生ボランティアではなく、学生リーダーと言っている意味は？

N：社会奉仕としてのボランティアではなく、地域の方々や子どもたちと共に自らも楽しく積極的に参加する「地域活動」という意識を持ってもらいたいからです。地域に「マンパワー」や「新しいアイデア」、「子どもたちに親しまれる若さ」を提供できるグループのひとつが、学生リーダーだと考えています。

S：学生リーダーが地域活動に参加するメリットは？

N：子どもたちから見ると学生リーダーは先生ではなく遊び相手であり、本音で話し、甘えられる関係が生まれます。また、子ども間で縦割りとなる、多世代（異学年）交流も促進することがメリットだと思います。一方で、学生リーダーにとっても子ども達は「一緒に活動する仲間」であり、継続的に参加することで仲間が増え「居場所」ができることで更に活動がしやすくなります。また地域社会と関わったりすることで学生リーダー自身の成長にも繋がると考えます。

S：青少年委員会では、「中高生ボランティアリーダーの育成」が今年のテーマのひとつです。

今年は、以前ひがたに参加した小学生がぜひリーダーをやりたいと手をあげ、中学生リーダーが生まれました。そして早速5月のひがた探検隊に参加してくれましたが、彼の様子はどうでしたか？

また、中高生リーダー育成への考えはありますか？

N：中学生リーダーは、昨年同様に楽しそうに参加してくれて、僕も嬉しかったです。彼には人数点呼や全体サポートをしてもらいました。一緒に参加する学生リーダーが楽しそうに活動することで、自然体験や地域活動が楽しいものだと感じてもらい、今後も継続的に参加してもらえるといいですね。



学生リーダー



中学生リーダー

中学生からリーダーとして参加してもらえることで、長期にわたって多くの人と関わり、さまざまな事を学んでもらえると思います。今後もたくさんの中学生・高校生に地域活動に参加してもらい、共に活動できることを期待しています。

また、いま一緒に活動している学生リーダーは、年間を通して継続的に地域で参画してもらっています。そうすることで地域の方々や子どもたち、保護者の皆さまにも顔の見える関係性が生まれ、信頼していただけるようになると思っています。

## 青少年委員から

3年前から学生リーダーをお願いしています。確かに子どもたちは彼らを慕い、学生もとてもよく子どもたちのケアをしてくれています。将来彼らをお手本にたくさんの中高生ボランティアリーダーが出て、地域のために活躍してくれるのは間違いないと、私たちは確信しています。





# ポニー乗馬会

今年は神田地域でのポニー乗馬会になります。



日 時：平成23年10月8日（土曜日）  
 10：00～12：00・13：00～15：00  
 場 所：芳林公園（昌平小学校向かい）外神田3-5-18  
 対 象：小学生以下の区内在住・在学のお子さん  
 （障がいのあるお子さんも体験できます。）  
 乗馬体験やかわいい小動物とふれあうことができます。  
 参加費は無料です。当日直接会場へ！  
 （雨天中止）中止の場合は当日ホームページでお知らせします。  
 携帯からも利用できます。http://seishonen.jp/  
 主 催：千代田区青少年委員会 協 力：財団法人 ハーモニィセンター

## スクールライフサポーター事業をご存じですか？

「スクールライフサポーター」は、千代田区が今年度より新規に開始した取り組みで、各小学校に2～3名ずつ配置されています。目的は、学校生活の中で、子どもたちが基本的な生活習慣を身につけ、力を伸ばしていくための支援をすることです。多様な大人と触れ合うことにより、豊かな人間性や社会性を育む機会とすること、また保護者に対しても、子育ての相談に応じたりしながら、子育てを支援していく事を目的としています。

### 〈あるスクールライフサポーターのつぶやき〉

徐々に子どもたちから声をかけてもらえるようになって嬉しく思います。今後もしっかり見守り、サポートをしていきますので、保護者の皆様も、各校に配置されているスクールライフサポーターにお気軽にお声掛け下さい。



## 今年度の主な活動計画

- |                            |                       |
|----------------------------|-----------------------|
| 2011年 5月 ひがた探検隊 リーダー研修会    | 10月 ポニー乗馬会            |
| 5月 ひがた探検隊（春の部 ひがたを歩く）      | 10月 ひがた探検隊（秋の部 ハイキング） |
| 6月 東京都青少年委員会連合会定期総会        | 10月 区民体育大会お手伝い        |
| 6月 管内研修会 千代田区内各種青少年団体との懇談会 | 2012年 1月 成人の日のつどい     |
| 7月 管外研修会 メレーズ軽井沢           | 2月 ひがた探検隊（冬の部 海苔すき体験） |
| 7月 ひがた探検隊（夏の部 すだて漁）        | 2月 東京都青少年委員大会         |

その他月1回の定例会・他区との連絡会・関係機関との懇談会を予定しています。

## 編集後記

3月に起きた東日本大震災を経験した私たちは、今回「子どもたちと防災」について考えてみました。子どもたちを守るためにも、いつ来てもおかしくない首都圏直下型地震や東海・東南海地震に備えて、家族皆で避難方法について話し合うなど、常日頃から防災意識を持つことが必要です。4、5頁の防災マップは取り外して持ち運べるように工夫しました。最後に、3月に発生した東日本大震災及び長野県北部地震で被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願います。（広報委員 長岡 昭比古）

ホームページもご覧ください

千代田区 青少年委員会

検索

千代田区 青少年委員会からのメッセージ  
 発行：子ども・教育部 子ども総務課

編集：青少年委員会 広報委員会  
 電話：03-5211-4274 平成23年9月